

2025年度学校評価会記録(西宮つとがわYMCA保育園)

実施日:3月10日(火)17:00~18:00

場所:保育園2階応接室

参加者:園長・保護者有志 2名

- 2月中に保育園で無記名アンケートを実施したことについて、資料を基に園長より説明があった。
 - 全園児数76名中36件の回答があった。
 - 各意見項目とも概ね「大変よい」「よい」の評価を得ることができている。
 - 外遊びなども積極的にと入れていることの好印象の評価が多い。
 - 職員のかかわりについては、否定的な評価も記述もなく、職員の雰囲気が良い評価につながっていると感じる。
 - コドモンを導入したことにより、やり取りが円滑になったと感じる一方で、個々の園児に対する書き込みなどが誰が書いたかわからず少々機械的に感じるとの意見も上がった。
 - コドモンのさらなる活用、コットの導入など保護者の利便性にかかる意見が上がっている。
 - 感染症の状況についてのコドモンでの周知などの意見もあった。
 - お休みの際、園から様子を電話で聞いてもらえないか等の意見もあった。
- 以上の意見を元に下記のような意見が参加者より上がった。
 - 布団の持ち帰りについては、雨天時やほかの荷物と重なるなど負担感はある。
 - 登降園時の駐輪マナーについては、園が適切に配慮していても守り切れていない場面が散見されている。
 - おやつのお迎え時間が遅いのでは？ 早くお迎えに来る場合など戸惑う。
 - 保育参加の要望などもコドモンなどを活用してほしい。
 - 保護者の自主的な会などにより、つながりが豊かにあると感じる。
- まとめとして園より下記のような話がなされた。
 - 布団については、コットの導入も検討はしたが、施設環境上難しいとの判断を行っている。
 - 駐輪場の課題など、保護者モラルを信頼するところと、保護者どおしや地域とのトラブルにならないところの介入など、園の範疇については継続的課題と感じる。
 - 個々のお迎え時間の対応などは、一律的な縛りではなく、コミュニケーションやり理由説明などに応じていくよう今後も努める。
 - 年度末に地域全職員の研修、また保育園での次年度準備も行われるので、アンケートと本日の意見を元に、改善を行っていくようにする。
 - コドモンでの情報提供、口頭でのコミュニケーション、それぞれの役割を今一度確認し、今後とも保護者への円滑なかかわりを大切にする。

2025年度学校評価会記録(西宮YMCA保育園)

実施日:3月11日(水)17:00~18:00

場所:西宮YMCAランチ2階

参加者:園長・保護者有志 3名

- 2月中に保育園で無記名アンケートを実施したことについて、資料を基に園長より説明があった。
 - 全園児数74名中32件の回答があった。
 - 各意見項目とも概ね「大変よい」「よい」の評価を得ることができている。
 - コドモンを導入したことにより、保護者とのコミュニケーションが円滑になった意見がほとんどであったが、直接のコミュニケーションが減ったのではとの意見もあった。
 - 職員の印象としては、明朗快活との意見がほとんどであった。
- 以上の意見を元に下記のような意見が参加者より上がった。
 - 入園時には不安が高い部分もあったが、職員の雰囲気、またグループでの保育で包摂的なこともおしのかかわりが感じられ、なじむことができている。
 - 複数の職員のかかわりがどのクラス・グループでも感じられ、多様なありようが尊重されていると感じている。
 - コドモンは家庭での連絡作成が容易であり、また確認もスマートフォンに情報が提供されるので容易でありがたく感じる。
 - コドモンでの報告は園の全体行事などは実施内容などはわかりやすいと感じる一方、その中の子どもの動きや反応がテキスト上ではわかりにくい部分があると感じる。
 - アプリケーションでのコミュニケーションはまだまだいろいろな可能性があるのもっと活用してほしい。
 - まだまだ、口頭でのコミュニケーションの必要性を感じるのも、コドモンを活用しつつ、送迎時のやり取りも肝要であると感じる。
 - 感染症の状況などについては、玄関掲示だけでなくコドモンでの状況共有などに努めてほしい。
 - 今日のように保護者と園が自由に懇談できる機会はうれしい。特に保護者とおしがつながれるような機会が他にもあれば、さらに過ごしやすさを感じる。
- まとめとして園より下記のような話がなされた。
 - 年度末に地域全職員の研修、また保育園での次年度準備も行われるので、アンケートと本日の意見を元に、改善を行っていくようにする。
 - コドモンでの情報提供、口頭でのコミュニケーション、それぞれの役割を今一度確認し、今後とも保護者への円滑なかかわりを大切にする。

2025年度 学校評価(自己評価)
(西宮YMCA保育園・西宮つとがわYMCA保育園)

実施場所:西宮YMCA保育園3階

日 程:2026年3月14日(土)14:30~15:00

出席職員:西宮YMCA保育園および西宮つとがわYMCA保育園全正規職員

- 職員での振り返り
 - 保育園の価値として、育ちの保証が何より肝要。その中で伸びのびとした環境、個性尊重、子どもの気持の受容、自然環境での経験を大切にしていきたい。
 - 保護者環境も変わりつつあるので、一元的な発信ややり取りにとどめず、子どもの背景や家庭環境、また発達など個々の違いに着目しながらかわる必要が大きくなっている。
- 学校関係評価を受けて
 - コドモンでの発信のみに頼らず、個々の家庭とのつながりを送迎時などを中心に構築する必要がある。また情報内容によっては、コドモンでの発信を活用するなど、時代に応じた対応を考えていく必要がある。
 - 保護者どおしのつながりを求めている部分については、園として保護者会でのつながりも大切しつつ、互いにつながり合えるような機会創出を検討していく必要がある。
 - 保育者には概して高評価を得られている。普段のコミュニケーション、情報提供などこれまでの取り組みを振り返り、まばらなつながりならないようにしていくことが必要。
 - 子どもに対する保育内容や職員のかかわりについては、好評価でもあるので大きな変化ではなく見直しはしつつも、自分たちの大切にしているものを語り合い、確認し合い、日々の保育を進めていきたい。
- 総括…意見・職員自己評価を受けての行動目標として
 - 話し合ったことや重点項目を期間を定めて振り返って、評価と改善をしていく必要がある。そうした機会を年度内に行っていくようにする。
 - 保護者とのつながりについても意識をもってかかわり、評価の機会を持つこととする。